

# 自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園  
下田中学校便り第9号  
令和3年12月16日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラーでご覧いただけます。

## 来年度に向かって動き始めました ～ 生徒会役員選挙 ～



立会演説会 (R3. 12. 2)

立候補した7人の2年生は、およそ1年半の中学校生活を経たのちの、下田中学校の発展に尽くす覚悟をもった立候補です。その本気の姿勢に、責任者をはじめたくさんの仲間が応援体制を組み選挙活動を行いました。ステージ上での立候補者、責任者の演説は、原稿を読むことは一切なく、視線を聴衆に向けて思いを伝えるものでした。聴衆もまた、姿勢をくずさずまっすぐに壇上を見つめていました。下中生全員の気持ちが来年度に向けて一つになった時間でした。



選挙管理委員会



投票

## 下田の魅力 たくさんある中の一部・・・

三条市の絵はがきは下の5種類があります。お気づきの通り、下田に関わるものが4枚あります。下田にいる者として嬉しく思うと同時に、しっかり学んで誰かに上手に説明できるようにになりたいと思います。

- ① 三条市の花「ヒメサユリ」
- ② 日本の棚田百選「北五百川の棚田」
- ③ 「清流五十嵐川と八木ケ鼻」
- ④ 法華宗総本山 本成寺「鬼踊り」
- ⑤ 「清流五十嵐川に集う白鳥」

は魅力的なものがたくさんあることを確認し、下田に誇りと興味をもって学習をスタートさせました。先月号でもお伝えした通り、全校生徒は下田の現在の良さを再発見し、そして下田の将来について考えました。このあと、学習の成果を「第6回 したただ地域資源発掘コンテスト」に応募する予定です。

今年の5月、この絵はがきの話を全校生徒にしました。ふるさと学習が始まる直前のことです。下田に



1年生は、ふるさと学習で追究してきた仕上げとして、下田地区内をバスで見学してきました。12月9日は奇跡的に晴天に恵まれ、気持ちよく学ぶことができました。



暖かな日差しの中、佐野誠五さんから棚田（北五百川）を案内していただきました。眼下に広がる棚田と家々、青空に映える雪化粧した粟ヶ岳を堪能しました。さらに奥へと進み、たどり着いた大久保の清水でのどを潤しました。



嵐溪荘では御主人の大竹啓五さんから、その歴史について、そして御自身の下田中時代のこともお話しいただきました。また、館内浴場では、温泉で足湯体験をさせていただきました。（シャワーで足をきれいに洗ったあとに入りました。）



その他の訪問地：諸橋轍次記念館、八木ケ鼻登山道、道の駅 漢学の里したただ など  
御協力いただきました皆様、ありがとうございました。来年のふるさと学習に生かします。